

「放送のウラに通信アリ展」で復刻版鉱石ラジオと真空管ラジオの音を体験！

2025 年 12 月#日

11 月 20 日の記事で告知致しましたように、KDDI MUSEUM（東京都多摩市）で開催中の企画展「放送のウラに通信アリ展」で、11 月 29 日(土)に、「復刻版鉱石ラジオと真空管ラジオの音を体験しよう」という特別イベントが開催されました。当日は同 MUSEUM の通常展示も特別に無料開放され、たくさんのお客様で賑わいました。

シャープミュージアムでは、この企画展に当館所蔵の復刻版鉱石ラジオと真空管ラジオをお貸出ししています。今回、そのラジオを実際に動作させて現在の放送電波を受信し、来場された多くの方にその音をお楽しみいただきました。

展示された復刻版鉱石ラジオ(左)と真空管ラジオ(右)



復刻版鉱石ラジオは屋外に設置しました。アンテナ線を長く伸ばしてようやく小さな音が聞こえるという設営の苦勞についても見ていただくことができ、100 年前にラジオを聴くことがいかに大変だったかを感じていただけました。

繊細でクリアに聴こえる音声に歓声を上げる方もおられ、笑顔が絶えないイベントになりました。

試聴体験の様子



また、「放送のはじまりと世の中の変化」と題してシャープ社友会の吉田さんが登壇し、ラジオ放送が始まった大正時代の時代背景や人々の生活の中でラジオがどのように普及していったのか、放送における通信の関わりなどについて講演を行いました。

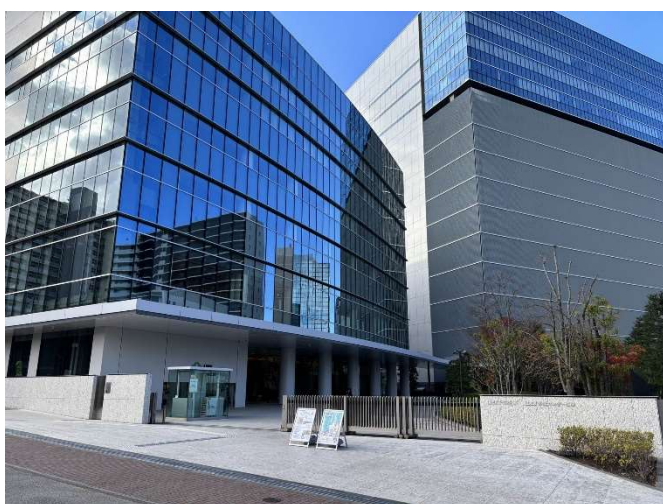
講演会の様子と社友会 吉田さん(右)



今回の特別イベントには幅広い年代のお客様が来場され、復刻版鉱石ラジオと真空管ラジオの音をお楽しみいただくことに加えて講演もお聞きいただき、これらのラジオが当時の社会でどのような価値をもっていたのか、お客様と共有することができました。

「放送のウラに通信アリ展」は KDDI MUSEUM にて引き続き 2026 年 2 月 3 日まで開催されております。ご興味のある方はぜひご来場ください。

KDDI MUSEUM の外観とイベント案内看板



<https://www.kddi.com/museum/program/special/broadcast100/>